

回覧

令和 2 年(2020 年)度 第 十 一 回 定 例 役 員 会 2020 年 11 月 7 日(土)

～2020 年 11 月 5 日(木) 作成～

< 館長報告 >

館長 土井 承夫(どいよしお)

昨年 11 月の「第十一回 館長報告」(2019 年 11 月 2 日付)書き出しの時候の挨拶文を観てみると次の通りでした・・・

～落ち葉のじゅうたんを踏んで歩く頃となりました。今年も文化勲章のニュースを聞く季節となりました。皆様には元気で過ごしの事と存じます～

これは今年の内容にもピッタリなので今回もこれを使わせて頂きます。(手抜きですが決してその積もりはございません)

<ブレیکنングニュース・Breaking News>・・・速報!・・・

～福庭野球部が市のソフトボール大会で見事優勝!～

福庭自治公民館 野球部が 10 月 18 日(日)に倉吉総産高グラウンドで行われた倉吉市民体育大会のソフトボール競技決勝トーナメントで優勝候補の米田町を **24 対 3**、そして決勝で、これも強敵の高城地区・服部(はっとり)チームに **14 対 6** で圧勝しました。準決勝の優勝候補「米田町」(上灘地区)との対戦前に上野賢一監督と約束していた「ジュース・アイスクリーム」の差し入れを現地に持って行きましたが、決戦前の緊張からか選手の誰からも笑みも言葉も出ず何か暗い雰囲気さえもありましたが、それが“諦(あきら)め”ではなく「スポーツマンとしての息を整える静かな準備」であったのだと気づき変に感動してしまいました。(これはあくまでも私個人の感想です)この優勝の記事は今週配布された「上井公民館だより」(11 月 1 日発行)に写真入りで紹介されています。監督・選手の皆様、本当におめでとうございました。そしてご苦勞様でした。

<福庭自治公民館新築特別寄附金(自主的な寄附)の集計状況>

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。**(26-0770、携帯 080-4261-1979)** お電話を下されば、私が戴きに参ります。

<受付期限の延長>

この寄付金の受付期限を 1 年間延長し新公民館が完成する来年の令和 3 年 11 月末日と致します。また新公民館完成後も様子を見ながら引き続き受け付け致します。

*令和 2 年(2020 年) 10 月 31 日 (土) 現在の集計結果(総計)は次の通りです。

(1) 寄付頂いた世帯数： 141 世帯 (全体の約 34.1%)

(2) 寄附金の合計： 457 万円

(3) 個々の寄付金額の概要：最高額：30 万円 (1 名) 30 万円 (福庭青年団) 25 万円 (2 名：1 名は福庭、もう 1 名は福庭以外の方です) 10 万円 (13 名) 5 万円 (10 名)、3 万円 (20 名)、2 万円 (13 名)、1 万円 (80 名) 他

(先月報告の内容と同じです)

<公民館新築の今後の予定>

今後の福庭自治公民館新築スケジュールは次の様になります。

9 月 11 日 に「コミュニティ助成金申請書」を提出した→令和 3 年 (2021 年) 3 月下旬に上記助成金受給決定通知 → 同年 5 月業者の指名入札 →6 月解体作業の着工→7 月新築工事の着工 →**令和 3 年(2021 年)11 月末 新公民館の完成**

<特別会費・事業所協力金お願いの月となりました>

今月は令和 2 年度の特別会費 (事業所協力金) を福庭地区にある企業 50 社の会社様にお願いに上がります。この協力金は新公民館建設費用にも使わせて頂く重要な財源であり、1 社 1 社 誠意を持ってお伺いしご協力をお願いするものであります。この作業は、11 月の定例役員会で班長を含む役員で分担を決め丁寧かつ速やかに行って参ります。昨年通り、館長の私が最低 15 社以上は担当させて頂きます。今年は初めて「新規開拓」に挑 (いど) みます。すなわち例年の総会議案書にある 50 社の他に次の 3 社にもお願いに伺う予定にしております。(新規開拓目標の 3 社)・・・「岸田歯科クリニック」、「松井酒造～ウイスキー“倉吉”で有名な小鴨・中河原の酒造会社」(日産プリンス隣の「えびす本郷」跡地に“ビール工場”を建設予定)、「かほく耳鼻咽喉科」の 3 社です。

次ページに今回新たに作り直した各社にお持ちする「館長名のご協力お願い文章」をご参考までに掲載します。

資料

様

令和2年11月吉日
福庭自治公民館長
土井 承夫(どいよしお)

令和2年度福庭自治公民館 特別会費(事業所協力金)お願いについて

日に日に秋が深まり紅葉が鮮やかな季節となりました。貴事業所におかれましては益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。また日頃より福庭自治公民館の諸活動に対して格別のご協力ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年も題記の件につきましては誠に厚かましいお願いで恐縮ではありますが、ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

特に来年の令和3年には、弊自治公民館70年の悲願であります「公民館の新築」を計画しており11月末を完成目標としているところであります。その建設費には今年を含む皆様方からのこのご協力金も有難く使わせて頂くことにしております。完成の暁には是非ご感慨を以てご視察頂くと幸甚であります。

新型コロナ禍の中、またご出費多端の折とは存じますが、何卒ご理解ご協力の程をお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴社・貴事業所の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

敬具

ご参考までに昨年度の貴社・貴事業所から頂いた特別会費（事業所協力金）は

一金 円 ご協力頂きました。誠に有難うございました。

ご協力頂く期限は会計処理上、11月30日としておりますが、これに捉われることなく貴方のご都合の良いタイミングでお納め頂ければ幸せであります。何卒宜しくお願い申し上げます。

＜来年1月2日の定期総会はコロナ禍のため中止の見込みです＞

上井公民館管轄17自治公民館の館長会で来年の定期総会は、ほぼ全部の自治公民館がコロナ禍の為、「密」を避ける意味から中止を決めています。福庭自治公民館でも毎年60～70名の方々が出席され狭い会場は一杯になります。従って当公民館も来年、令和3年（2021年）1月2日（土）に予定している定期総会は執行部で検討した結果、「中止」とせざるを得ない状況です。

来年2021年（令和3年）は新公民館建設の年であり、これを確実に実行するための最終的な予算書や最終図面を議案書の中に盛り込む予定です。通常であれば、総会の議決によってこれらを皆様方から承認頂くのですが、今回は緊急措置として所謂「書面決議」の形をとる事になると考えています。その概略の予定は次の通りです。

1. 令和2年（2020年）12月5日（土）の定例役員会で上記書面決議の提案を行い班長を含む役員の皆様の了承を得る。
2. 12月10日（木）が本年度の会計の締めとなる。その結果を以て12月15日（火）に会計監査を行う。
3. 最終的な本年度の会計資料と前述の新公民館建設の最終データを盛り込んだ令和3年度（2021年度）定期総会議案書を執行部で作成する。
4. その来年度定期総会議案書を本年12月19日（土）に召集する臨時役員会で班長を含む全役員に配布し内容についての議論と承認を得る。
5. 全班長はそれぞれの班の皆様はその議案書を回覧し内容について確認して頂く様お願いする。
6. そして各班全住民の皆様から「承認」或いは「執行部一任」または「承認しない」の回答を頂いて、来年（令和3年度）1月16日（土）開催の第1回定例役員会（新班長出席）で提出して下さい。その書式はこれから執行部で作成致します。以上

～ 館長のちょっと一服コーナー ～

秋晴れの大山（だいせん）・・・緑と紅葉と雪の三色コントラストはまさに絶景でした。そして悠久（ゆうきゅう）の時空（とき）を刻む「大山信仰（だいせんしんこう）」、荘厳な雰囲気を持つ大山寺と大神山神社（おおがみやまじんじゃ）、この杉の老木に囲まれた静寂の中で暫（しば）し佇（たたずん）でみました・・・

先月 10 月末の秋晴れの日「紅葉の大山（だいせん）」へドライブに行ってきました。まず、江府町の「鍵掛峠（かぎかけとうげ）」で撮った下の一枚の写真をご覧ください。

“Because it is there.”（ビコーズ・イテイ・イズ・ゼアー / そこに山があるから）～これはイギリス人の冒険家ジョージ・マロリーの名言ですが、マロリー自身は単に「誰も登った事のないエベレストという前人未踏の山があり、それに挑戦したいから」というのが真意でした。然し日本ではこれを拡大解釈して「苦しんでいる人がいるから・・・その人を癒したい」とか、山を人生に例えて「山は人生に似ている。目先の小さな目的に捉われずにその山の頂上を目指し、ただ一生懸命登ればいい。それが充実した人生を過ごす秘訣なのだ」と言う様な人生哲学の名言として捉えられてきました。本当はニューヨーク・タイムズの記者から「Why did you want to climb Mount Everest?」（何故あなたはエベレストへ登りたいのですか？）と聞かれて「Because it is there.」（エベレストが存在するから）と答えただけなのです。”it”が指すのは単なる山ではなく、誰も登頂したことがないエベレストがあるからと言う意味です。（尚、イギリスには最高で 1300 メートル台の山しかないのも、もしマロリーが大山を見たらやはり「登りたい」と言ったかも知れませんね?）・・・ドライブの最後は大山寺と大神山神社に参拝しました。大山信仰の始まりは約 1300 年以上も前です。大山寺は奈良時代に創建され、一時は 3 千人の僧兵を擁（よう）し、平安・室町時代には天台宗山岳仏教の修験場（しゅげんじょう）として隆盛を極めました。その後は 9 月館長報告で述べた日本画家の千住博さんが襖絵（ふすまゑ）を持ち込む予定の高野山金剛峰寺（和歌山県）や比叡山延暦寺（滋賀県）と並ぶ大寺となりました。また大山寺の地藏菩薩は「牛馬守護の仏」とされ「農業神」として信仰も盛んで、江戸時代から牛馬市が開かれてきました。この二つの古刹（こさつ）では春秋例祭、夏開き祭、稚児行列、たいまつ行列、護摩法要などが年中行事として行われており「座禅体験」も出来るそうです・・・（完）



<2020 年 10 月 26 日

月曜日 13 時頃、

江府町「鍵掛峠」

から秋晴れの大山

を望む～緑と紅葉と雪

の白の三色コントラ

ストの風景はまさに絶景

でした>